

会長を前にて



本吉唐桑商工会
会長 佐藤 雅俊氏

「合併効果を目指して」
と会員ニーズに対応した指導・支援の強化、

○会長さんのご商売について
お聞かせください。

昭和四十二年に家業である佐藤製材所を継承し、平成元年に(有)ヤマセ材木店設立、代表取締役として現在に至っている。最近、ハウジングメーカーの進展により、在来工法による住宅建築が減少傾向ではありますが、百年の家作りを目指す工務店との連携を図りながら、良い材料を使つたこだわりの家作りをしたいと考えています。



空き店舗活用した施設 (すけっとはうす)

○地域の商工業の状況はいかがですか。

地域格差が益々拡大しているのが実感です。当商工会地域の人口は、ここ十年で約一割の二千人が減少しており、大の目標であり、本吉と唐桑の役員・会員の交流による事業の拡大を目指した情報交換

○商工会が取り組むまちづくり事業についてお聞かせ下さい。

これからは、商工会の合併効果が最大限に発揮できる組織体制の形成を図ることが最大の目標であり、本吉と唐桑の役員・会員の交流による事業の拡大を目指した情報交換

MY TOWN ホット情報

「はっとでホット」スローフードを食育に 第四回「全国はっとフェスティバル」

登米中央商工会



「はっと」の販売風景

今、「地産地消」や「スローフード」そして「食育」などをキーワードに各地で現代の「食」のあり方を見直す動きがあります。そんな中、地域古来の食文化である郷土料理は、共通のテーマといえるのではないのでしょうか。

登米地方には、藩政時代より伝わる「はっと」は小麦粉を材料にした郷土料理「はっと」があり、国内各地にも同様の多種多様な雑穀粉食文化が脈々と受け継がれています。今回で四回目を迎える「全国はっとフェスティバル」は「はっと」に類似する郷土料理や、見た目は異なるものの呼称が類似するなど、その由来に共通性のあるものが一堂に会し開催されます。人気の

助事業を活用し、特産品の開発・販路拡大、空き店舗対策など地域の振興活性化の諸事業を実施しております。
来年度事業につきましては、街路灯の改修事業や商店街の活性化等地域振興事業に取り組みとともに、会員と商工会がコミュニケーションを図りながら、多様化・高度化する会員ニーズに対応した指導・支援事業(巡回・窓口指導)の強化を中軸に、「会員にとって魅力ある商工会事業」を第一に掲げ事業を推進していきたいと考えております。
ある「はっと」はすぐに売り切れてしまいますのでお早めにお出かけ下さい。

第四回

「全国はっとフェスティバル」

日時

平成十九年十二月二日(日)

午前十時三十分から

午後二時まで

会場

登米市迫町佐沼

中江中央公園